

あの川は、いまどうなっていますか？
そして、子ども達は、その川の恵みを知っていますか？

ますますグローバル化し、変容する私たちの社会と暮らし。人間にとって自然とは何なのか、なぜ大切なのか、健康とやすらぎを与えてくれるのは何かなど、自然のもつ大いなる恵みと人の在り方について、また現実の自然のすがたや問題点など、未来に続くかけがえない子孫のために私たちが何をなすべきかなどを、自然環境の研究者・活動家としても著名な日本人・C.W.ニコル氏に語っていただきます。



加治川ネット21 NPO設立記念

写真/新発田市三日市付近

CW・ニコル 講演会「人と自然」VOL.2 「グローバルな環境、ローカルな環境」

2003年5月24日(土)
新発田市民文化会館

開場/6:00PM 開演/6:30PM

チケット：前売券1,000円(当日券1,500円)

プレイガイド：新発田市生涯学習センター、新発田商工会議所、山口レコード、新発田自然食センター、(株)萬盛社、稲家、ビュー福島潟3F「まこも」、倉島釣具店、聖籠町民会館、聖籠観音の湯「ざぶ〜ん」、新発田駅前「シーブ」、新潟大学生協、シネ・ウインド



加治川ネット21は1997年に設立、未来の子供たちのために少しでも良い自然環境を残したいという思いで、新発田市を中心とした広域で活動している環境文化団体です。主に子供たちを対象とした環境講座、環境体験、環境事業を企画・運営しています。

この春よりNPO法人として新たな活動をはじめることになりました。そこで、NPOの設立の記念事業として、広く市町村民に環境の大切さを知っていただこうと環境講座を企画しました。

◆職業 作家

◆生年月日 昭和15年(1940年)7月17日生。

◆略歴 英国南ウェールズ生まれ。17歳でカナダへ渡り、その後、カナダ水産調査局北極生物研究所の技官として、海洋哺乳類の調査研究にあたる。

1967年より2年間、エチオピア帝国政府野生動物保護省の猟区主任管理官に就任。シミエン山岳国立公園を創設し公園長を務める。1972年よりカナダ水産調査局淡水研究所の主任技官、また環境保護局の環境問題緊急対策官として、石油、化学薬品の流出事故などの処理にあたる。

1980年、長野県黒姫に居を定め、以降、執筆活動をしている。

1995年7月、日本国籍を取得。

◆著書等

『ディキシシー』角川書店、『勇魚』文藝春秋社、『風を見た少年』講談社、『TREE』徳間書店、『FOREST』徳間書店、『北極カラスの物語』講談社、『魔女の森』講談社、『盟約』文藝春秋社、『遭敵海域』文藝春秋社、『裸のダルシン』小学館=2002年児童福祉文化財の推薦を受ける。他、多数。

主催：加治川ネット21 共催：新発田市、新発田市教育委員会

協賛：新発田ガス(株)、菊水酒造(株)、片山食品(株)、(株)アートグラフィック新潟、曽根建(株)、小柳産業(株)、関金網(株)、市島酒造(株)、(株)ナカムラ、新発田中央保険サービス、(株)萬盛社、稲家、(有)熊谷建設、(株)伊藤組、新発田建設(株)、(株)石井組、(株)グリーンシグマ、若月建設(株)、聖籠観音の湯「ざぶ〜ん」(順不同)

後援：環境省北越地区環境対策調査官事務所、新潟県、新発田地域広域事務組合、紫雲寺町、聖籠町、聖籠町教育委員会、加治川村、豊浦町、豊栄市、日本ビオトープ協会、新潟県ビオトープ協会、新潟県学校ビオトープ連絡協議会、(協)新潟ビオトープネットワーク、新発田青年会議所、新発田商工会議所、新発田商工会議所青年部、NPO法人ねっとわーく福島潟、新発田野鳥の会、学校法人日本自然環境専門学校、倉島釣具店(順不同)